

令和3年3月25日

宗像市議会
議長 神谷 建一 様

予算第2特別委員会
委員長 上野 崇之

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第18号議案 令和2年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について

事業勘定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3億4,099万9千円を減額し、101億2,526万2千円とする。直営診療施設勘定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ227万4千円を減額し、8,086万4千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

〔事業勘定〕

- 1 歳入では、額の確定に伴い、財政安定化支援事業繰入金や保険基盤安定繰入金等の一般会計繰入金を増額し、県支出金を減額する。また、歳出予算の補正に対応し、職員給与費等繰入金、出産育児一時金繰入金、基金繰入金を減額する。
- 2 歳出では、新型コロナウイルス感染症の影響による受診件数の減少、レセプト点検件数の減少や事業の中止等により、保険給付費と保健事業費を減額する。また、歳出額確定に伴い、償還金を増額し、直営診療施設勘定繰出金を減額する。

〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入では、患者搬送車購入のための借入れについて、入札の結果、不用額が生じたため市債を減額する。また、額の確定に伴い、一般会計繰入金を増額し、事業勘定繰入金を減額する。
- 2 歳出では、歳出執行状況から不用額を見込み、臨時医師委託料などの総務費と、患者搬送車購入に係る施設整備費を減額する。

【意見】

(賛成意見)

- ・新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えが受診者や医療機関にもたらす影響を考慮し、今後の事業に生かしてほしい。
- ・コロナ禍により、医療機関の状況は大変厳しいものになっている。医療機関に対する給付金等の支援は国が主体であるため、全国市長会などを通じて国に対策を講じるよう要望してほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 19 号議案 令和 2 年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）について

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 2,100 万 2 千円を減額し、16 億 7,814 万 2 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入では、決算見込みにより保険料収入を減額し、歳出予算の補正にあわせて一般会計繰入金を減額する。また、新型コロナウイルス感染症の影響により在宅歯科訪問事業が実施できなかったため、諸収入の後期高齢者医療制度事業費補助金を減額する。
- 2 歳出では、保険基盤安定負担金などの額確定や歳入における保険料収入の補正により後期高齢者医療広域連合納付金を減額する。また、在宅歯科訪問事業の中止により総務費の委託料を減額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 20 号議案 令和 2 年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）について

保険事業勘定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 6,132 万 3 千円を減額し、80 億 2,507 万 3 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る介護保険料の減免に伴い保険料を減額する。また、保険者機能強化推進交付金や保険者努力支援交付金の内示などに伴い国庫支出金を増額する。
- 2 歳出では、介護認定申請件数や要介護（要支援）認定者数の伸びが当初の見込みより少なかったことから総務費と保険給付費を減額する。また、地域支援事業費についても同様に、利用者数が見込みを下回ったため減額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 21 号議案 令和 2 年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 369 万 4 千円を減額し、4,855 万 9 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

密を避けるために審査会の開催を 2 合議体から 1 合議体に変更したことや、特例措置による認定期間の 1 年延長に伴い更新審査件数が減少したことから、歳入では介護保険事業費負担金と介護保険特別会計繰入金を減額し、歳出では介護認定審査会一般事務費を減額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 22 号議案 令和 2 年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第 2 号）について

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 4 6 9 万 1 千円を減額し、5 億 2, 5 4 4 万円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

歳入では、歳出の減額補正に伴い一般会計繰入金を減額する。歳出では、確定申告による消費税確定に伴い公課費を減額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 23 号議案 令和 2 年度宗像市下水道事業会計補正予算（第 3 号）について

収益的収入及び支出では、収入を 1 2 3 万 9 千円減額し、収入総額を 3 1 億 1, 8 4 2 万 5 千円とし、支出を 7 7 4 万 8 千円増額し、支出総額を 2 5 億 6, 4 6 7 万 6 千円とする。

資本的収入及び支出では、収入を 1 億 4, 8 1 6 万 4 千円減額し、収入総額を 1 0 億 9, 8 2 9 万 1 千円とし、支出を 1 億 5, 7 3 6 万円減額し、支出総額を 2 1 億 3, 1 9 6 万 8 千円とする。あわせて、企業債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収入では、動力費の減額により他会計負担金を減額し、漁業集落排水処理施設事業の課税支出の減額に伴う仮払消費税の減少により消費税還付金を減額する。収益的支出では、執行残を見込み、ポンプ場費及び漁業集落排水処理施設事業費の動力費を減額する。また、公共下水道事業に係る課税支出の減額に伴う仮払消費税の減少により消費税を増額する。
- 2 資本的収入では、建設改良費の減額に伴い企業債を減額し、国庫補助事業採択の減少に伴い国庫補助金を減額する。資本的支出では、国庫補助事業採択の減少と工事の一部中止に伴い施設整備費の委託料と工事請負費などを減額する。また、入札の結果、不用額が生じたため漁業集落排水処理施設整備費を減額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 25 号議案 令和 3 年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ 2 9 9 万 8 千円と定める。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和3年度当初の滞納状況は、21人分30件になる予定である。そのうち1人は償還推進助成金の申請を行っており、決定次第、助成金の受入れ、債権の放棄や不納欠損の処理を行う。今後も、弁護士と法的措置について協議しながら償還推進助成金も活用し、債権の回収・整理を行っていく。

【意見】

(賛成意見)

- ・今まで地道に取り組んだ結果を評価する。コロナ禍であることを加味しながらも、当該事業の利用者の完済状況を知らせるなどの工夫をしつつ、丁寧に督促をしてほしい。
- ・担当課が鋭意努力してきた経緯は理解している。残された滞納分については、法的手続も含めて弁護士と十分協議し、市民の人権も保障しながら、确实、着実に進めてほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第26号議案 令和3年度宗像市国民健康保険特別会計予算について

事業勘定の予算総額は、歳入歳出それぞれ97億585万5千円と定める。直営診療施設勘定の予算総額は、歳入歳出それぞれ7,638万7千円と定める。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

〔事業勘定〕

- 1 予算総額は、前年度比4.4%、4億4,939万2千円の減額で、主な要因は、歳入では保険給付費の減少に伴う県支出金の減少、歳出では保険給付費と国民健康保険事業費納付金の減少などである。なお、保険給付費については、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により令和2年度の医療費が減少したことを加味し、大幅な減額となっている。
- 2 令和3年度の被保険者数は、前年度比1.9%、375人の減少を見込んでいる。被保険者のうち介護保険第2号被保険者数は、前年度比1.6%、89人の減少を見込んでいる。
- 3 令和3年度の国民健康保険税は国民健康保険基金を活用して、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分のいずれも据置きとする。
- 4 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対する減免については、令和3年度も市独自の財源で継続する。国の財政支援も継続される予定となったが、国の基準では令和3年度の収入見込額が令和2年度の収入実績に比べて30%以上減少していることが要件となる見込みであるため、国の減免対象にならない場合は市独自の減免策で救済する。
- 5 特定健診・保健指導事業費については、新型コロナウイルス感染症の影響も加味し、令和3年度はICTを活用した保健指導の実施も予定している。

〔直営診療施設勘定〕

予算総額は、前年度比8.4%、697万6千円の減額である。減額の主な要因は、大島の被保険者数が減少傾向にあるため、診療収入の減少を見込んだことによるものである。

【意見】

(賛成意見)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対する市独自の支援策を考えたことは非常に評価できる。医療費適正化については、後の特別交付金保険者努力支援分に大きな影響を与えるものでもあるため、今後も目標値に近づけるように工夫し、特定健診や特定保健指導によって市民の健康の維持増進につながるよう努力してほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対して令和2年度と同様の減免措置を継続することと、国民健康保険税を据え置いたことを評価したい。ただし、国民健康保険における子どもの均等割については、国の政策に先んじての軽減実施を検討してほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第27号議案 令和3年度宗像市後期高齢者医療特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ17億2,051万3千円と定める。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

予算総額は前年度比2.0%、3,375万5千円の増額である。歳入の主なものは保険料と保険基盤安定繰入金などの繰入金、歳出の主なものは後期高齢者医療広域連合納付金である。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり可決した。

第28号議案 令和3年度宗像市介護保険特別会計予算について

保険事業勘定の予算総額は、歳入歳出それぞれ78億3,604万6千円と定める。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

〔保険事業勘定〕

- 1 令和3年度は、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の初年度である。要介護（要支援）認定者数は、平成28年度をピークに減少傾向であるため、今後の第1号被保険者の増加を考慮し、認定者数の計画値を推計した。
- 2 認定者数が減少傾向にある要因は、介護予防・日常生活支援総合事業の開始や全ての日常生活圏域への地域包括支援センター整備により利用者のニーズに沿ったきめ細かな案内ができていたりことや介護予防事業に積極的に取り組んだことが影響していると考えられる。
- 3 地域支援事業費のうち、認知症総合支援事業費については、認知症の人やその家族の支援ニーズと支援をつなぐ仕組みとして認知症サポーター等によるチームオレンジの立ち上げ支援に新たに着手することから増額する。
- 4 低所得者保険料軽減繰入金は、令和3年度に実施される第1段階から第3段階の低所得者層の保険料軽減措置を見込んでのものであり、法改正など環境が整い次第、事業を進める。

- 5 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険の第1号保険料の減免措置については、令和3年度も国の基準に沿って実施する予定である。

【意見】

(賛成意見)

- ・介護給付費準備基金を活用して介護保険料を引き下げたことを評価する。地域包括ケアシステムの構築には地域住民の協力が必要不可欠であるが、既に地域で活動している住民主体のグループを支援し、主体的な活動を担ってもらう手法も検討してほしい。

(反対意見)

- ・介護保険料の減額を評価するが、抜本的に介護保険制度を変える時期にきており、一人一人の高齢者に寄り添う制度設計を再考すべきである。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり可決した。

第29号議案 令和3年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ5,236万円と定める。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

審査件数を6,703件と見込み、過去の実績から算出した審査件数の割合である宗像市63.5%、福津市36.5%を基本として、歳出項目に応じて両市の負担金を計上する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第30号議案 令和3年度宗像市渡船事業特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ5億5,145万4千円と定める。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響による乗客数の減少を見込み、事業収入を減額する。歳出では、事業費でフェリー「おおしま」及び「ニューじのしま」の定期検査のための修繕費や、可動橋の腐食による取替工事のための工事請負費などを増額し、3人の定年退職により職員人件費を減額する。
- 2 令和3年度から機構改編により渡船事業の所管を総務部から産業振興部に移管する。島の振興と渡船の連携を強化することで、観光促進による交流人口の拡大と、それに伴う利用客の増加による渡船事業の経営改善などを図る。

【意見】

(賛成意見)

- ・島民の生活の基盤を保障するためにも、渡船は重要である。3隻から2隻体制へという大きな変更を提案するのであれば、島民自身も島の振興のために頑張ろうと思えるような政策を島民と一緒に検討してほしい。
- ・生活航路であるので、まずは安全で安心できる航路を維持してほしい。新型コロナウイルス感染症による影響の予測は難しいが、少しでも多く事業収入が得られるよう全庁的に取り組んでほしい。また、航路再編については島民への丁寧な説明や意見交換を行い、信頼関係をつくりながら進めてほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第31号議案 令和3年度宗像市下水道事業会計予算について

収益的収入及び支出では、収入の予定額を30億8,968万7千円とし、支出の予定額を26億8,160万1千円とする。資本的収入及び支出では、収入の予定額を2億9,115万8千円とし、支出の予定額を12億9,179万5千円とする。また、企業債の限度額を2億4,310万円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収入は前年比6,151万1千円の減額で、収益的支出は前年比8,563万5千円の増額である。資本的収入は前年比9億5,529万7千円の減額で、資本的支出は前年比9億9,795万1千円の減額である。
- 2 国からの要請により、豪雨災害時の被災リスクの高い下水道施設について浸水対策を行うため、下水道施設の耐水化計画を策定する。令和4年度以降に実施設計を行い、対策工事を行う予定である。
- 3 下水道事業の基本計画である基本構想及び全体計画の見直しを行う。内容は、鐘崎漁業集落排水処理施設処理区域の公共下水道事業への編入及びこれに伴う宗像終末処理場の施設計画のほか、下水道事業の現状と課題の整理である。
- 4 釣川に設置されている「東郷第二雨水幹線樋門」について、損傷している部分の改築工事を行う。

【意見】

(賛成意見)

- ・下水道処理施設は365日止めることができない状況であり、衛生面も含めて職員の負担が増えていると思われる。新型コロナウイルス感染症対策に費用が必要となる可能性もあるが、柔軟に対応してほしい。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり可決した。